

化粧品の防腐処方設計と

保存効力試験実施のポイント【LIVE配信】
【アーカイブ配信】1名分料金で
2人目無料◆日時：2024年5月16日(木)12:30~16:30
【アーカイブ配信:5/22~5/31(何度でも受講可能)】

◆会場：【WEB限定セミナー】※ご自宅や職場でご受講下さい。

◆受講料：1名につき49,500円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

- ・1名でお申込みされた場合、1名につき46,200円
- ・2名同時にお申し込みされた場合、2人目は無料(2名で49,500円)
- ・ライブ配信視聴、アーカイブ配信視聴いずれも受講料は同じです。

セミナーHP <https://www.rdsc.co.jp/seminar/240530>

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

【講師】※講師のご略歴等の詳細は弊社HPでご確認下さい

大河微生物研究所 大河 正樹 氏

【ご専門】化粧品及び食品の微生物制御

【ご経歴】1979年 日清製粉(株)入社、食品保存、食品微生物学の研究、品質管理を担当

1995年 (株)資生堂入社、化粧品の防腐処方設計(約4,000品) 微生物保証グループリーダーとして、防腐処方設計、微生物管理技術者を指導育成

2007年 日本化粧品工業連合会微生物専門部会長に就任 ISO国際会議に21回出席、ICCR、IAC微生物関連プロジェクトに日本代表として参画

2018年 大河微生物研究所設立

【講座趣旨 / プログラム】※詳細内容は弊社HPでご確認下さい

保存効力試験(通称チャレンジテスト)は、簡単に言ってしまうと、菌液を試料に混合し、その菌数を追跡する試験法であるが、実は非常に難しい試験であり、ちょっとした試験条件が結果に大きく影響する。また防腐処方設計は、単に防腐剤を配合して保存効力試験に合格すればいいというような単純なものではなく、安全性に十分な注意が必要であるし、使用方法、使用地域、容器、製品の安定性や使用性に及ぼす影響等、多くの要因を考えなければならない。本講座では、この難題を解決するためのポイントを分かりやすく説明していく。4,000品の防腐処方を設計した実績と豊富な国際経験がお役に立てれば幸いである。

1. 微生物の基礎

一生物の分類 一細菌 一真菌 一環境と微生物

2. 微生物制御の重要性

- 一何故、化粧品には微生物制御が必要なのか?
- 一微生物起因の化粧品・医薬部外品の回収事例
- 一化粧品の微生物制御基本的考え方…一次汚染と二次汚染では対応方法が大きく異なる

3. 保存効力試験

- 一保存効力試験って何?
- 一基本的な試験の流れと主なポイント
- 一正確なデータを出すためのポイント
 - ・菌株の復元・保管
 - ・菌液調製…調製液の選択で結果が異なることも
 - ・菌液接種、混合…均一に混合することが重要
 - ・接種済試料の保管…保管温度で減少速度が変わる
 - ・残存菌数測定…抗菌成分の中和と試料の分散が重要
- 一それでもチャレンジテストは難しい

4. 防腐処方設計

- 一防腐基準の比較(JP、USP、ISO) 一実は危険なNo Increase
- 一合否だけでなく、防腐力の強弱を把握することが重要
- 一防腐処方設計の必要性&基本的な考え方
- 一防腐力を有する成分(防腐剤、防腐剤代替剤、防腐助剤)
- 一各防腐成分の特徴
- 一各防腐成分の使用状況
- 一防腐力に影響を及ぼす要素(水分活性、pH、原料等)
- 一防腐処方設計におけるカテゴリ
- 一カテゴリ別防腐処方設計方法、及び適切な試験法
 - ・ほぼ水相(化粧水、含浸マスク・シート等)・乳化系(乳液・クリーム等)
 - ・乳化系+粉末(リキッドFD等) 一被膜剤配合(マスカラ・アイライナー等)
 - ・カチオン系・アニオン系(シャンプー、リンス等)
 - ・粉末・固形製品(ファンデーション、アイシャドウ等)
 - ・油性製品(口紅、オイルクレンジング等) 一防腐処方設計不要(エナメル、パーマ剤等)

本セミナーは「Zoom」を使ったWEB配信セミナーとなります。Zoomを使ったWEB配信セミナー受講の手順

- 1) Zoomを使用されたことがない方は、こちら(https://zoom.us/download#client_4meeting)からミーティング用Zoomクライアントをダウンロードしてください。ブラウザ版でも受講可能です。
 - 2) セミナー前日までに必ず動作確認をお願いします。はじめかたについてはこちら(<https://www.rdsc.co.jp/files/instruction/zoom.pdf>)をご覧ください。
 - 3) 開催日直前にWEBセミナーへの招待メールをお送りいたします。セミナー開始10分前までにメールに記載されている視聴用URLよりご参加ください。
- ・セミナー資料は開催前日までにお送りいたします。無断転載、二次利用や講義の録音、録画などの行為を固く禁じます。

『保存効力試験』セミナー申込書 ※ご希望の参加形式にチェックを入れて下さい⇒< LIVE アーカイブ >

会社・大学	
住所	〒
電話番号	FAX

お名前	所属	E-Mail
①		
②		

●Webセミナーの受講申込みについて●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。上記のLIVEかアーカイブにチェックを入れて下さい。弊社から受付完了のご連絡をいたしまして請求書をお送りいたします。セミナーお申込み後、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席下さい。代理の方も見つからない場合、営業日(土日祝日を除く)で8日前まででしたらキャンセルをお受けします。

受講料の支払いに関してはHPをご覧ください。

⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。

⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送